

**国内HORIBAグループ  
2017年IMS目標取り組み結果  
及び2018年IMS目標**

---

**HORIBA**

# 統合マネジメントシステム(IMS)<sup>※1</sup>

## ISOマネジメントシステムの2015年版改訂に合わせた取り組み

ISOマネジメントシステムの2015年版改訂では、組織の意図した成果・目的を達成することが要求されています。これに伴い、HORIBAグループでは、「自部署の状況整理シート」を作成し運用しました。

これは、部署ごとの役割、内外の課題、特に重要な法規制、顧客のニーズ、トップや利害関係者の要求事項等の現状把握をするためのものです。

今回のこの変更は統合マネジメントシステムとして、品質マネジメントシステムだけでなく、環境、労働安全衛生など、あらゆる組織の課題を、現状に沿った“リスクと機会”として捉えて、より経営戦略に結びついた活動が出来るようになりました。

## IMSの審査結果及び内部監査結果を水平展開し有効活用

各部署が、IMSの審査結果と内部監査結果を有効に活用し成果を出すために、各部の業務に関連した内容を選別し展開しています。

※1. IMS (Integrated Management System) : 品質ISO9001、環境ISO14001、労働安全衛生OHSAS18001、道路交通安全ISO39001、事業継続 ISO22301等の複数のマネジメントシステム規格などをひとつに統合したマネジメントシステムで運用すること。

# 2017年国内HORIBAグループIMS目標取り組み結果

1/3

HORIBAグループでは、IMSを実効あるものにするため、「グループIMS目標」を掲げています。

①品質、②安全管理、③衛生管理、④環境管理、⑤リスク管理の5つのカテゴリーから成ります。

【HOR】=(株)堀場製作所、【STEC】=(株)堀場エステック、【HAT】=(株)堀場アドバンスドテクノ、【HTS】=(株)堀場テクノサービス

😊 = 達成    😐 = 一部達成    😞 = 取り組み中

カテゴリー	テーマ	グループIMS目標	内容	結果
①【品質】	①品質コスト(予防・評価・損失)の バランス配分と圧縮	(1)グループ各社、工場ごとの品質コスト状態 改善中長期達成目標： 予防コスト≥評価コスト≥損失コスト	(1)各社の結果は次の通り(予防、評価、損失コスト)。 【HOR】1:5:3 【STEC】1:6:1 【HAT】1:1:2	😞
		(2)損失コスト 2016年より低減	(2)2016年の実績を上回った。 【HOR】 予防活動、特に設計段階での品質確保、教育の強化が課題。 【STEC】 評価による流出防止段階。HOR同様予防活動が課題。 【HAT】 HORからHATへの水質計測製品移管による損失コスト増加も 予防活動に軸足を置き活動を推進する。	
	②工場安全と品質の向上	(1)びわこ工場:受注～設計～生産～据付け までのリードタイム短縮	(1)目標対象製品のPG-350は目標リードタイム 15日に対して16日。 MEXA-1700目標リードタイム40日は取り組み中。 設計プロセスにおいては8割の受注生産設計で設計レス仕様書を運用。 生産プロセスにおいては検査ラインの設備ソフト改造にて工数短縮。 また、組立工程の作業改善により、工期短縮の取組みを継続中。	😞
		(2)阿蘇工場:グループ量産の基幹工場の 体制確立(安定品質/コストダウン)	(2)仕損金額率を指標にし取組み実施。 目標値には届かなかったが、増産の中、昨年より仕損金額を減少出来た。 具体的には、設計と工場の連携で設計要因の不良率ワースト3に対し 改善を実施。今後も原因究明や是正を継続する。	😊
③トリプルゼロの実現	重大クレームゼロ, 重大事故ゼロ, 法規制違反ゼロ	重大クレームはグループ会社において発生。 重大事故及び法規制違反ゼロ。	😐	

# 2017年国内HORIBAグループIMS目標取り組み結果

HORIBAグループでは、IMSを実効あるものにするため、「グループIMS目標」を掲げています。

①品質、②安全管理、③衛生管理、④環境管理、⑤リスク管理の5つのカテゴリーから成ります。

😊 = 達成    😐 = 一部達成    😞 = 取り組み中

カテゴリー	テーマ	グループIMS目標	内容	結果	
②【安全管理】	安全宣言行動方針への対応…行動計画の順守	①工場設備安全	(1) 拠点整備・移動に伴う事故ゼロ (a) 吉祥院地区再整備に伴うリスクアセスメント及び安全対策の実施	(1) 拠点整備・移動に伴う事故ゼロ。 (a) 計画的に取り組み必要のあるリスクアセスメントIV以上なし。 リスクアセスメントの評価はI~Vの5段階。 レベルはV>IV>III>II>I	😊
			(b) 阿蘇工場第5期工事への安全対策の展開	(b) 5期棟引越しに伴う安全確保のため本社で行ったリスク評価の手法JHA※2の水平展開を実施。 従来3期棟・4期棟改修工事の安全確保継続。	😊
		②労働災害防止	(1) 業務上災害・業務上交通災害/職業性疾病/通勤途上災害をゼロにする	(1) 業務上災害及び通勤災害は発生。	😞
			(2) 非定常業務での災害ゼロ	(2) 災害ゼロ。	😊
		③製品安全	(1) Complaint sheet※3でのSA・A案件数ゼロ SA・A案件: 人身事故、火災、環境汚染及び顧客に多大の損失を発生させる恐れのある致命的な苦情	(1) グループ会社で2件発生。是正実施。	😐
			(2) 過去の是正対応の是正確認実施	(2) 是正確認実施し失敗事例を共有し予防処置を実施。	😊
		④サービス安全	(1) 人身事故ゼロ	(1) 人身事故ゼロ。	😊
			(2) 過去の是正対応の是正確認実施	(2) 過去に是正したサービスに関する正しい対処方法(機器の接続など)の周知徹底教育を実施。	😊
		⑤交通安全	(1) 死亡事故/加害人身事故をゼロにする	(1) 死亡事故ゼロ。加害人身事故は発生。	😐
			(2) 自責物損事故(加害・自損)のゼロを目指す	(2) 自責物損事故(加害・自損)は発生。	😞

(※2) JHA: JOB HAZARD ANALYSIS (作業ハザード分析)

(※3) Complaint sheet: 顧客苦情シート

# 2017年国内HORIBAグループIMS目標取り組み結果

3/3

HORIBAグループでは、IMSを実効あるものにするため、「グループIMS目標」を掲げています。  
①品質、②安全管理、③衛生管理、④環境管理、⑤リスク管理の5つのカテゴリーから成ります。

😊 = 達成    😐 = 一部達成    😞 = 取り組み中

カテゴリー	テーマ	グループIMS目標	内容	結果
③【衛生管理】	①労働衛生	(1) 排ガス・排(廃)液・有害物質・放射線・化学物質等による人の健康障害のゼロを維持する。	(1) 健康障害ゼロ。	😊
		(1) 健康診断受診率100%を維持する	(1) 健康診断受診率100%達成。	😊
	②健康増進	(2) 二次検査受診率を2016年度よりアップさせる	(2) 二次検査受診率ダウン。	😞
		③メンタルヘルス	(1) 新規メンタル不調者数を2016年度より減少させる	(1) 達成。
	(2) メンタル不調再発者数を2016年度より減少させる		(2) 達成。	😊
	④【環境管理】	①省エネ・省資源	(1) エネルギー使用効率 2016年度比1%向上	(1) グループ会社では、売上高増加に伴い、エネルギー使用効率 2016年度比1%向上。
(2) 廃棄物削減につながる活動の展開			(2) 最終処分量1.00%以下を達成。	😊
②環境事故未然防止		(1) 環境事故ゼロ	(1) 環境事故はゼロ。但し、環境事故に繋がりがかねない環境不適合は1件発生したが是正を実施。	😊
		③製品環境パフォーマンスの維持・向上	(1) 省エネルギー・省資源化の向上	(1) 環境適合設計対象機種すべてにおいて実施。
(2) 製品含有化学物質情報の早期提供			(2) 社内外に対して早期提供実施。	😊
(3) CE宣言該当製品の欧州RoHS指令適合			(3) 100%適合。	😊
⑤【リスク管理】	①情報セキュリティ/機密情報管理	(1) 情報セキュリティインシデントの発生防止	(1) 情報セキュリティインシデントの発生防止に取り組み実施。 ハード面:セキュリティの強化を実施。 ソフト面:セキュリティの教育を実施。	😊
		(2) サイバーセキュリティリスク管理体制の構築	(2) サイバーセキュリティリスク管理体制の構築中。	😐
	②事業継続	(1) 経験に伴う事業継続体制の再構築	(1) 熊本地震被災経験の記録作成し、改めて審査機関と事業継続体制の再構築について議論。 より経営リスクがアセスメントできるしくみを検討していく。	😊
		(2) 対象リスクの拡大(経営/パンデミック)	(2) 新型インフルエンザ対策措置法に基づく特定接種登録申請完了。	😊

# 2018年国内HORIBAグループIMS目標取り組み計画

HORIBAグループでは、2018年より安全に重点を置き目標の最上位に掲げています。

カテゴリー	グループIMS目標
①【安全】	<b>安全宣言行動方針への対応…行動計画の遵守</b> 1.工場設備安全 (1) 拠点整備・移動に伴う事故ゼロ・阿蘇工場改修工事における安全対策の徹底 (2) リスクアセスメント及び安全対策の実施(ガス・排(廃)液漏えい事故防止)
	2.労働災害防止 (1) 業務上災害・業務上交通災害/職業性疾病/通勤途上災害をゼロにする (2) 非常業務での災害ゼロ
	3.製品安全 (1) Complaint sheetでのSA・A案件数ゼロ (2) CAPA運用と過去の是正・予防対応の実施確認
	4.サービス安全 (1) 現場作業における製品・サービス要因事故ゼロ(ヒヤリハット・ニアミス含む) (2) 職場の労働安全衛生定期巡視と現場安全衛生パトロールの充実
	5.交通安全 (1) 死亡事故/加害人身事故をゼロにする (2) 自責物損事故(加害・自損)のゼロを目指す
②【品質】	1.品質コスト(予防・評価・損失)のバランス配分と圧縮 ・グループ各社、工場ごとの品質コスト状態改善 中長期達成目標: 予防コスト $\geq$ 評価コスト $\geq$ 損失コスト ・損失コスト 2017年より低減
	2.工場品質の向上 (1) びわこ工場: びわこ工場生産性向上 (2) 阿蘇工場: グループ量産の基幹工場の体制確立(安定品質/コストダウン)
	3.トリプルゼロの実現 (1) 重大クレームゼロ、重大事故ゼロ、法規制違反ゼロ

カテゴリー	グループIMS目標
③【衛生】	1.労働衛生 (1) 排ガス・排(廃)液・有害物質・放射線・化学物質等による人の健康障害のゼロを維持する
	2.健康増進 (1) 健康診断受診率を100%を維持する (2) 保健指導実施率を2017年よりアップさせる
	3.メンタルヘルス (1) 新規メンタル不調者数を2017年より減少させる (2) ストレスチェックの集団解析結果の改善 (①高ストレス者の低減 / ②職場の総合健康リスクの低減)
④【環境】	1.省エネ・省資源 (1) エネルギー使用効率2017年度比1%向上 (2) 廃棄物削減につながる活動の展開
	2.環境事故未然防止 (1) 環境事故ゼロ
	3.製品環境パフォーマンスの維持・向上 (1) 省エネルギー・省資源化の向上 (2) 製品含有化学物質情報の早期提供 (3) EU RoHS指令適合
⑤【リスク】	1.情報セキュリティ (1) 情報セキュリティインシデントの発生防止
	2.事業継続 (1) BCMS運用効果によるレジリエンスの向上 (2) 対象リスクの拡大(経営/パンデミック)